



2月19日(火)

## キリストの誕生と新年

聖書朗読 ルカ 2:8~14

恐れることはありません。今、私はこの民全体のためのすばらしい喜びを知らせるために来たのです。  
ルカ 2:10

家族からこれまでもらったクリスマスのメッセージを読み返しなが、亡き夫が、クリスマスが12月というのは、最もふさわしいタイミングだと言っていたのを思い出しました。家族からのメッセージの中にいつも希望が与えられ、励まされてきたものがあります。それは次のようなものでした。

「新年を迎え、あらためて何かに挑戦する機会を与えられる人は幸せだ。実現できなかった夢を再び見ることができ、過去の恐れに再び挑戦し克服できるかもしれない。自らを立て直し修復し再び挑戦し、変わるための時間の猶予が与えられる。このように新年を迎える時にキリストの誕生を重ね合わせて考えられるという点で、クリスマスが12月というのは素晴らしいタイミングだと思う。新年は人生のやり直しのために時間を与えてくれるもの。そして、キリストの誕生は、限られた時間を持つ私たちにいのちを与えてくれるもの。新たに与えられるいのちも時間も、人が過去から未来に向かって進む上でも、あるいは、周りの人を朗らかにし互いに思いやりをもって接し、平和を愛し、キリストに似た者を目指していくという姿勢を霊的な意味で分かち合っていく上でも欠かせないもの。人にはそれぞれ欠点もあり、互いの不一致もある。納得の行かない事もある。けれども、そんな中で、クリスマスこそ、人々の内なるキリストがこの世をより良く変えてくださるのだということを、この世に示す絶好の機会なのだ。」

讃美歌 98

祈り 親愛なる主よ。あなた様の福音のみことばとあなた様の与えてくださるいのちを常に忘れず、思いやりの心を持ち、誠実で、平和を愛するものとならせてください。主にあって生き、この世をより良い場とすることのできる者とさせてください。

イエス様のお名前によって祈ります。アーメン。

スーザン・K・ギボニー  
カリフォルニア州 マリブ

2月20日(水)

## 堅く立ちなさい

聖書朗読 Iコリント 15:50~58

ですから、私の愛する兄弟たちよ。堅く立って、動かされることなく、いつも主のわざに励みなさい。あなたがたは自分たちの労苦が、主にあつてむだでないことを知っているのですから。  
Iコリント 15:58

ハワイの島々ほど心穏やかになれる場所は、この地上にそう多くはないのではないのでしょうか。地上の楽園のようなハワイの島々は、私も大好きなところですが、けれども実はそこには、特にキリストに従う者たちにとってチャレンジの多い場所でもあるのです。アメリカ本土の多くのクリスチャンから地理的にも遠く離れ、現代版エデンの園とも言える環境の中で、天よりも地上的な心地良さに心が捕らわれないよう、常に気を付ける必要があります。

勿論オハイオでも同じことが言えますが、本土から遠く離れたハワイの信仰者の多くが、「堅く立ち、動かされない」ためにより多くの努力が必要だと言います。ハワイの人々の間には、まさにその事を言い表す昔からの言い伝えがあります。「堅く立って知識を求めなさい」というものです。

誰もが地上の楽園ハワイを訪れる機会があるわけではないでしょうけれど、私たちクリスチャンは、神様に信頼し続け、キリストの知識を求めて堅く立ち続けることによって、神様のパラダイスで生きると言う永遠の恵みに与ることができるのです。その時まで、堅く立ち知識を求めて行きましょう。

讃美歌 484

祈り すべての造り主なるお父様。この世の楽園は、真の楽園である天国を垣間見せてくれるものでしかありません。真のパラダイスに着くまで、日々あなた様に忠実であり続ける者とさせてください。

イエス様のお名前によって祈ります。アーメン。

マーク・R・ガイ  
オハイオ州 ウェストキャロルトン

2月21日(木)

## 始めから終わりまで

聖書朗読 ローマ 15:1~6

どうか、忍耐と励ましの神が、あなたがたを、キリスト・イエスにふさわしく、互いに同じ思いを持つようにしてくださいませように。 ローマ 15:5

何かに取り組んでいるとき、途中でもう投げ出したいという思いに駆られることはありませんか。例えば、アメフトの試合で第4クォーター残り2分ともなると、選手たちは傷つき疲れ果て、この2分で何が変わるのか、違いはただ勝つか負けるかだと、試合を投げ出してしまいたくなるのではないのでしょうか。試合を終わらせるには、あとひと踏ん張りすることが求められます。

イエス様は『完了した。』(ヨハネ19:30)とおっしゃいましたが、それは神様のご計画を成し遂げられたということでした。イエス様は、『見よ、世の罪を取り除く神の子羊。』(ヨハネ1:29)とある通りのお方であり、そのご使命を完全に全うされました。

けれども、サタンは、神様が主に与えられた私たちの救いのためのご使命を果たさせまいと、イエス様の行く手を阻もうとしました。そのため、イエス様は、今も闘い続けてくださっていますが、当時、真の信仰に人々を導こうとしない宗教指導者らや、疑いと誤解を抱く人々に常に立ち向かわなければなりません。けれども、そのような中であってもイエス様は諦めずにそのご使命を全うしてくださいました。耐え忍ぶことに何の意味があるのかと思うことがありますが、その報いは必ずあるのです。

*困難な状況を乗り越えられるかどうか。*

*それは、神のみこころに照らしてその困難を見ることが出来るか、*

*それとも、神が困難の影に隠れてしまっているのかによって決まる。*

——G. Campbell Morgan

讃美歌 338

祈り 天のお父様。私たちが救われたのは、イエス様が諦めずにそのご使命を果たしてくださったからです。イエス様と同じように、私たちが最後まで忠実な者としてください。

イエス様のお名前によって祈ります。アーメン。

ラリー・ケイン

テキサス州 ハイランドヴィレッジ

2月22日(金)

## 豊かな人生

聖書朗読 ピリピ 4:4~20

盗人が来るのは、ただ盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするだけのためです。わたしに来たのは、羊がいのちを得、またそれを豊かに持つためです。

ヨハネ 10:10

お金持ちになるというアメリカンドリーム。私たちは、必要なお金をすべて手にしたら、もう安泰と思うのではないのでしょうか。けれども聖書には、豊かな人生に富は必要ではないと書かれており、イエス様こそが豊かな人生をもたらして下さるお方だとあります。

今日の聖書箇所使徒パウロは、豊かな人生の歩みについて記し、喜びをもって日々歩み、人に親切にし、祈りによって神様に近づき、神様にある平和を受け入れ、良い事を考え、良い人のまねをし、そして謙虚に他者に頼ることを挙げています。

勧められる豊かな人生の歩み方の中でも、満足することを学ぶことが最も大切なのではないのでしょうか。パウロは、『私は、どんな境遇にあっても満ち足りることを学びました。』(ピリピ4:11)と言っています。持っている物が多くても少なくとも、お腹が満たされても空腹でも、全てを手にしても無一文だったとしても、パウロにとって違いはありませんでした。パウロのように満ち足りることは、現代の物質主義社会では難しいかもしれません。けれども、『私は、私を強くして下さる方によって、どんなことでもできるのです。』(ピリピ4:13)とあるように、私たちにパウロと同じ拠り所があります。主の御力を言い表し、豊かな人生を送りましょう。

讃美歌 336

祈り 親愛なる主よ。私たちの主なるイエス・キリストによらなければ決して得ることの出来ない豊かないのちの道を、私たちに与えてくださり感謝します。

イエス様のお名前によって祈ります。アーメン。

デール・フォスター

テキサス州 サイプレス

2月23日(土)

## 注 目 す る も の

聖書朗読 ヘブル 1:1~4

これは、わたしの愛する子、わたしの選んだ者である。彼の言うことを聞きなさい。  
ルカ 9:35

常に世間から注目される人がいるでしょう。例えば大統領であれば、スピーチをしたら「昨日の大統領のスピーチ聞いた?」というように、誰もが話題にするのではないのでしょうか。注目を集める人というのは、重要なポストにいる人や高い地位の人、あるいは権力や人気のある人でしょう。いずれにせよ、こうした人々は、何か言うたびに世間の注目が集まるものです。

ヘブル1章には、神様は私たちに語ろうとされることを、御子イエス・キリストを通して語られるとありますが、なぜ私たちはイエス様の言うことに耳を傾けるべきなのでしょう。それは、イエス様が万物の相続者であり、御子によって世界が造られ、御子は神の栄光の輝き、また神の本質の完全な現れであり、その力あるみことばによって万物を保っておられ、大能者の右の座に着いておられると、聖書で神様が示しておられるからです。

あなたはこのイエス・キリストに目を注いでいますか。ヘブル人への手紙の著者は、もし私たちがイエス・キリストから聞いたことをおろそかにしたなら、神様の大きい救いの御業から離れ押し流されてしまう(ヘブル2:1~3)と言っています。あなたの目は完全にイエス様に注がれているのでしょうか。私たちが皆ペテロと同じように「あなたは、永遠のいのちのことばを持っておられます。私たちは、あなたが神の聖者であることを信じ、また知っています。」(ヨハネ6:68~69)と心から言えるように祈ります。

讃美歌 270

祈り お父様。この世が語ることに目を向けすぎてしまうことをお赦してください。イエス様、どうかはっきりと一人ひとりにみことばをお語りくださいますように。そしてそのみことばによって私たちの心を捉えてください。

イエス様のお名前によって祈ります。アーメン。

チャック・ブリアント  
テキサス州 ラボック

2月24日(日)

## 人であり神の子なるイエス

聖書朗読 ヘブル 4:12~16

私たちのためには、もろもろの天を通られた偉大な大祭司である神の子イエスがおられるのですから、私たちの信仰の告白を堅く保とうではありませんか。  
私たちの大祭司は、・・・私たちと同じように、試みに遭われたのです。

ヘブル 4:14~15

イエス様は人か神か。私たちは、イエス様の尊い教えと、成された奇跡のみわざに目をとめてみると、イエス様がこの地上の歩みもご経験されたということを忘れてしまいがちです。イエス様は疲れを覚えられお休みになる場所へ行かれることもありましたし、悲しむ者とともに悲しまれ、喜ぶ者とともに喜んでくださいました。私たち人間と同じ肉にある経験をイエス様も同じようになされたのです。

イエス様は聖なるお方でおられるとともに、神様が肉の形を取られた人でもある特別なお方です。マタイ4章2節には、イエス様は『空腹を覚えられた』とあり、マタイ27章45節には『全地が暗くなった』とありますが、イエス様は肉と霊のいのちをともに現されたお方です。

『キリストは聖なるものとされた人々を、一つのささげ物によって、永遠に全うされたのです。』(ヘブル10:14)、『わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。』(ヨハネ11:25~26)、『神のご性質にあずかる者となるためです。』(Ⅱペテロ1:4)とあるように、主のみすがたになぞらえて造られた私たちも、主を通していのちを現すことができるようにしていただけるのです。

人であり神の子なるイエス様を通して、私たちもこの地上とやがて来る天の御国で、完全ないのちを現すことができるようにさせていただきます。

讃美歌 121

祈り 主よ。人の弱さをご経験されるため、また、その聖なるご性質によって、私たちに永遠のいのちをお与えになるために、神様がそのひとり子をこの世にお送りくださったことを感謝します。

イエス様のお名前によって祈ります。アーメン。

ジャン・ノックス  
テキサス州 グランバリー